



### 清水 聡

昭和61年生まれ。昭和小学校、昭和中学校出身。関西高等学校から駒澤大学に進学し、現在は自衛隊体育学校に所属。2007年、全日本選手権と、秋田わか杉国体で2冠。2008年、北京オリンピック出場。2010年、広州アジア大会ベスト8。世界選手権には過去4度出場している。

「2大会連続でオリンピック出場が決まり夢のよう。昨年は調子が悪かったが徐々に良くなってきた」。喜びを話す清水さんの2011年はどん底と言えるくらい最低の年だったという。国際試合だけでなく、今まで負けななかった国内での試合でも思うような成績が残せなかった昨年。「体の左右のバランスが崩れ、試合でもエンジンが

と、相手が決勝で勝てば3位となり、ロンドン行きが決まるという最後の望みにかけた。運命の決勝では清水さんを倒した選手が勝利。その瞬間清水さんのロンドンオリンピック出場が決定的だった。

かからなかった」と振り返る。

だがそこで終わらなかつた。「負けたということ飛ばねになり、さらなる飛躍につながった」。悔しがる前にまず自分を見つめ直したという。ロンドンオリンピック最終予選の代表選考会では、それまで調子が悪かったのが別人のように1回戦から決勝まで圧倒的に勝利。「自分が理想とするボクシングの形に近づいていることを確信した」と、自信に満ちた表情だ。



4月19日、オリンピックの出場報告に市役所を訪れた清水さん。市長とスパーリングを披露した

ロンドンオリンピック最終予選では準決勝で完敗したものの、さすがは強運の持ち主、最後の最後でオリンピック出場を決めた。北京オリンピックの出場がかかった試合でも劣勢のなか、清水さんが放ったカウンターの一発が相手の目尻を切り裂いてドクターストップとなった。もうだめだと諦めかけたとき、勝利の女神は微笑む。「一生分の運を使い果たしたかも」と、笑顔で話す。



# 4年前のリベンジだ！

ボクシング・バンタム級  
ロンドンオリンピック出場  
北京に続き2大会連続で夢の舞台への切符を手に

# 清水 聡

Shimizu Satoshi

総社市出身、自衛隊体育学校

## 狙うは金メダル

4月にカザフスタンのアスタナで開催されたアジア選手権兼ロンドンオリンピック最終予選で3位となり、ロンドンオリンピック日本代表に決まった。北京に引き続き2大会連続のオリンピック出場だ。

ロンドンへの切符を手にするには最終予選で3位までに入らなければならない。3回戦まで順調に勝ち進み、ベスト4が確定。決勝進出がかかった準決勝に勝てばオリンピックが決まる。「ここで勝負を決めたかった」。だが、相手は強豪。1ラウンドはリードを奪うが、速いコンビネーションで少しづつ圧倒され始め、2ラウンドで逆転された。3ラウンドも相手の攻撃が衰えずリードを許したまま終了のゴング。「負けたのは仕方ない。後は祈るのみ」